

教科名	科目名	単位数	授業形態	系統	履修年次
芸術	書道Ⅲ	2	選択	文系	3

教科書（発行所）	書Ⅲ（教育図書）
教科書以外の教材	

目 標	書道の創造的な諸活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情と書の伝統と文化を尊重する態度を育てるとともに、感性を磨き、個性豊かな書の能力を高める。		
	学期	学習事項	学習内容 考查等
学習計画	1 学期	書と文化 世界の文字と書 書は人なり 漢字の書の美 古典に学ぶ 生活の中の書 実用書・硬筆 書を生かす	世界の文字と漢字の歴史を比較し、書の歴史や文化の理解を深めるとともに、これからの書の在り方を考える。また、歴史上の偉人や他分野で活躍する人物などの書を鑑賞し、人物像や作者の心情・表現の工夫等を考察する。 石や木材などに書かれた古典を原寸で再現し、漢字の起源や書体の変遷について理解を深める。 甲骨文 小臣觶饗尊 散氏盤 古代の文字を生かし、創作する。 硬筆展の課題に取り組む。履歴書や冠婚葬祭に関する実用的な文字の書き方を学び、ブックカバーやコースター・本の葉などを制作する。 自らの意図に即して用具・用材を工夫し、生活の中に書を取り入れる楽しさを学ぶ。
	2 学期	漢字の書の学習 隷書の古典に学ぶ 草書・行書の古典に学ぶ 創作	濃墨や淡墨など墨色による印象の違いを理解し、古典の雰囲気にも即した表現を工夫する。 開通褒斜道刻石 礼器碑 中国と日本の書を比較し、書風の違いを理解する。 李嶠詩雜詠 白氏詩卷 喪乱帖 黃州寒食詩卷 李太子帖 半紙展に向けての作品制作 自分自身の表現を求めて語句を考え、墨色や用具・用材を工夫し、効果的な紙面構成を考えて創作する。 カレンダー制作、年賀状制作
	3 学期		創作した作品を、掛け軸などの書の鑑賞に適した状態に表装する。
授業の受け方・学習に向けてのアドバイス等	<ol style="list-style-type: none"> 1 移動教室のため、時間に余裕を持って行動し、教科書や用具をそろえて席に着きましょう。 2 用具は大切に扱い、常に整理整頓を心がけましょう。 3 課題に応じて学習成果（作品）を提出しましょう。 4 創作（自己表現）力を高める資料を各自で追求しましょう。 5 作品の制作過程、鑑賞活動も重視します。いかに興味を持って取り組み、自分なりの工夫をしたかを評価します。 		

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。 創造的な諸表現をするために、書の効果的な表現の技能を身に付けている。	書表現の諸要素を感受し、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。 文字や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。	主体的に書の表現と鑑賞の幅広い活動に取り組む態度、書のよさや効用を捉え、自己表現に生かそうとする態度、制作の過程を振り返って評価・改善しながら粘り強く取り組む態度を身につけている。
評価の方法	定期考査は行わず、次の4点をふまえて総合的に評価します。 <ol style="list-style-type: none"> 1 出席・学習活動への参加状況（主体的に学習に参加し、粘り強く取り組んでいるか。） 2 作品（書体や書風の特徴を捉えて表現出来ているか。用具・用材や字形、構成などを工夫し、意図に基づいた表現が出来ているか。） 3 プリント（自身の考えや気づきが書かれているか。制作過程や改善点、自己評価など学びの過程が分かる内容となっているか。） 4 その他（道具を大切に扱っているか。教室や棚の整理整頓が出来ているか。） 		